

## 令和元年度第 1 回学校評議員会

住 所 盛岡市羽場 18-11-1  
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校  
校 長 南 舘 秀 昭  
電 話 019-638-3141

### 1 会議の名称

令和元年度第 1 回学校評議員会

### 2 会議の目的

学校運営等について地域住民代表及び地域産業代表等から幅広く意見を聞き、相互の意思疎通や協力関係を高め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。

### 3 会議の日時

令和元年 6 月 20 日（木） 15 : 30 ~ 16 : 30

### 4 会議の場所

盛岡工業高等学校 応接室

### 5 会議の出席者

- (1) 評議員 川 村 博 昭 本校同窓会 副会長  
熊 谷 司 盛岡市立飯岡中学校 校長  
坂 本 誠 一 岩手県立産業技術短期大学校 副校長  
林 義 明 盛岡セイコー工業株式会社 代表取締役社長  
吉 田 純 子 元本校 P T A 副会長
- (2) 学校側 南 舘 秀 昭 校長  
西 崇 副校長  
小野寺 秀 樹 副校長  
小田中 達 夫 定時制副校長  
阿 部 隆 広 事務長

### 6 会議の次第

- (1) 開 会
- (2) 学校評議員委嘱状交付及び校長挨拶
- (3) 学校概況説明  
ア 令和元年度学校経営方針並びに経営計画について（校長）  
イ 令和元年度全日制の概況説明について（副校長）  
ウ 令和元年度定時制の概況説明について（副校長）
- (4) 質疑応答、意見交換
- (5) 学校評議員より提言
- (6) 校長謝辞
- (7) 閉 会

## 7 会議の概要

### 次 第 (3) 学校概況説明

令和元年度学校経営方針並びに経営計画について、南館秀昭校長より資料に基づき説明を行った。(5分)

その後、西副校長、小田中副校長より資料に基づき説明を行った。(各10分)

### 次 第 (4) 質疑応答

評議員 年度始めから生徒による自転車の事故が多いと聞いたが、どのような指導をしていたらよいと考えているか。

学校側 学校では自転車運転マナーについて定期的に指導している。また、時間に余裕を持って通学するなどの啓発活動も継続して周知していきたい。

評議員 盛岡工業高校の学校再編計画について、企業側はどの程度分かっているのか。

学校側 分かっていない企業もあることから、いろいろな会合等で、情報提供をしている。

評議員 緊急連絡網体制をつくっているか。

学校側 一斉メール配信で、保護者、生徒及び教職員にメール配信できるようにしている。

評議員 学校評価アンケートは、継続して実施しているのか。

学校側 毎年、1月中旬に実施している。昨年度、項目を一部見直し、マークシートを活用して集計の時間短縮化も図っている。

### 次 第 (5) 提言等

評議員 1年生に対して、学び直しの7校時授業を実施していることは、中学校としてありがたい。今後も継続していただきたい。

評議員 生徒を採用する立場から見ると、受験する生徒との面談については、標準的な受け答えが多く、生徒が持っている個性が見えない場合が多い。個人の持っている資質をもっとアピールできるような指導をしていただきたい。

評議員 盛工へ入学したら、それぞれの学科で習得すべき資格をしっかりと取得させてほしい。親としては、いつ、どんな試験が、どこであるのか分からない場合が多い。学校から、資格試験一覧表などを出していただきたい。

## 8 会議のまとめ

評議員の皆様からいただいた御意見や御助言は、本校の教育活動を肯定的に捉えたうえで、物心両面からの支援を継続し、更なる発展・飛躍を期待するという前向きなものであった。

自転車事故等の未然防止や、次世代を見越したカリキュラムのあり方等については、引き続き今後も検討をしていかなければならないと感じた。